

次世代型 LNG クルーズ客船「アイコン・オブ・ザ・シーズ」の起工式を開催 環境面で最も優れた先進的な燃料技術を採用



ロイヤルカリビアンのご期待のアイコン・オブ・ザ・シーズの建設は、新たな節目を迎えました。

フィンランドの造船所マイヤー・トゥルクで起工式が行われ、この革新的なプロジェクトの進捗を祝いました。

マイアミ、2022年4月5日ーロイヤル・カリビアン・インターナショナルのご期待の次世代型 LNG(液化天然ガス)クルーズ船「アイコン・オブ・ザ・シーズ」の建造が、2023年秋のデビューに向けて極めて重要なマイルストーンを迎えました。フィンランドの造船所マイヤー・トゥルクで行われた起工式は、ロイヤルカリビアンとマイヤー・トゥルクの上級役員および建造チームが出席し、この革新的な客船の建造が正式に開始されました。

長年の伝統でもある起工式では、3,000トンのクレーンで巨大な鋼鉄ブロックを建造ドックに入れ、造船所とクルーズ会社を象徴する鑄造したてのコインの上に乗せます。コインには建造中に幸運をもたらすという意味があり、出航前に回収され、アイコン・オブ・ザ・シーズのキャプテンとクルーに渡される予定です。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社長兼 CEO のマイケル・ベイリーは次のように述べています。

「5 年前、我々はアイコン・オブ・ザ・シーズの夢を描き始めました。そして今、冒険の次の段階が始まろうとしています。この画期的な船が姿を現すにつれ、ご家族連れや世界中の旅行者、ビジネスパートナーからの興奮は高まる一方です。今年後半には、アイコン・オブ・ザ・シーズの施設詳細などのラインアップを公開する予定です。」

起工式では、アイコン・オブ・ザ・シーズの建造を支える作業チームに加え、ロイヤル・カリビアン・グループ社長兼 CEO のジェイソン・リバティ、同グループ会長のリチャード・フェイン、マイヤーグループ代表パートナーのバーナード・マイヤー、マイヤー・トウルク CEO のティム・マイヤーが出席しました。

アイコン・オブ・ザ・シーズは、現在環境面で最も優れた先進的な燃料である LNG へのシフトなど、これまでの客船の常識を大胆に超えるコンセプトで建造が進められており、2023 年の秋にデビューする予定です。今後、アイコン・オブ・ザ・シーズを筆頭に 3 隻の「アイコン・クラス」客船の建造が決定しており、すべて LNG を燃料とし、陸上からの電力接続や廃熱回収システムなどを組み合わせることで、クリーンエネルギーを使用した未来の旅行における重要なステップとなります。

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、50 年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。船上ではブロードウェイスタイルのエンターテイメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にお楽しみいただける多種多様なプログラムをご提供します。当社は世界で最も革新的なクルーズ船 26 隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、アラスカ、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは Travel Weekly Readers Choice Awards で 18 年連続「Best Cruise Line Overall(クルーズライン総合第 1 位)」に選ばれています。